



# 膵臓がんを 早期に発見するためには



だな たけし  
産業医 田名 毅  
(首里城下町クリニック)

産業医だよりでは、毎月当院で行われている地域むけ医療講演会の内容を抜粋してお伝えしています。

4月の地域むけ医療講演会は、県立南部医療センターこども医療センターの消化器内科医長の新里 雅人 先生に、「膵癌を早期発見するためには」と題してご講演いただきました。膵癌は発見が難しく予後が悪いということがよく知られているためか、当日は100名を超える来場者がありました。ここでは先生のご講演会の要旨を紹介します。

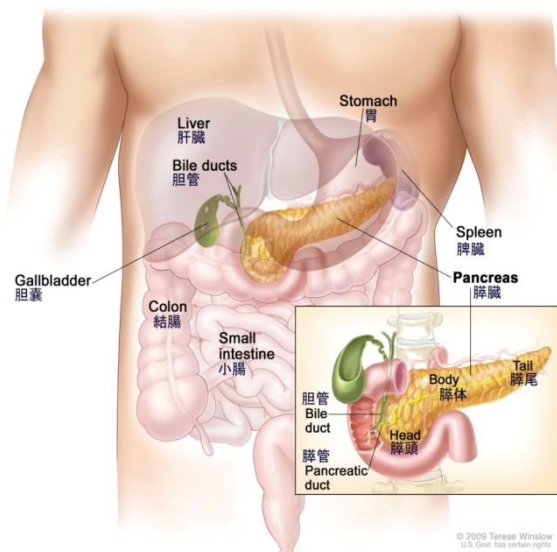
## 1. 膵臓とは

膵臓はみぞおちの部分にあり、胃の裏側にあります。

「おたまじゃくし」の形をしていて、長さは15cmほどです。

膵臓の働きは膵外分泌機能(食物の消化酵素の分泌、胃酸を中和させるアルカリ液の分泌)と膵内分泌機能(血糖を調整するインスリンの分泌)をになっています。よく膵臓の機能を調べるのに測定されるアミラーゼは炭水化物を分解する働きがあり、その他には脂肪を分解するリパーゼなどが膵臓の機能を評価するときに測定されます。慢性膵炎などになると脂肪の吸収が悪くなり体重減少したり、膵癌になるとインスリンの分泌が悪くなり糖尿病が悪化することがあります。急性膵炎になると通常は自分の身体を傷つけないはずの酵素が膵臓周囲の臓器を溶かし激

烈な腹痛が起こります(暴飲暴食、中性脂肪が高い人は起こしやすいので注意しましょう)。急性膵炎は別として、悪くなっても自覚症状があまりないこと、簡単なエコー検査では病気が見つかりにくいので注意が必要です。



© 2009 Teresa Winslow  
U.S. Govt. has certain rights

## 2. 膵臓がん

2014年の部位別死亡数では、肺、胃、大腸、肝臓について4番目に多い数になっています。他の癌と比較して罹った患者さんの亡くなる率が多いのが特徴で、5年生存率は最近のデータでも13%と報告されています。ただし、1cm以下で発見された場合は80%、1~2cmなら50%とされており、早く発見されるほど助かる率が高くなることもわかっています。膵臓がんの検査には、腹部エコー、CT造影、MRI、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)、超音波内視鏡(EUS)があり人間ドックなど施行される腹部エコー検査で発見されることは難しいとされていますが、膵管(膵臓の真ん中に通っている膵液の通り道)の拡張、膵嚢胞がある際には、膵臓癌を疑って精査すべきとのことでした。

通常の腹部エコーよりもより精密検査が出来るのが EUS です。

## ラジカル EUS

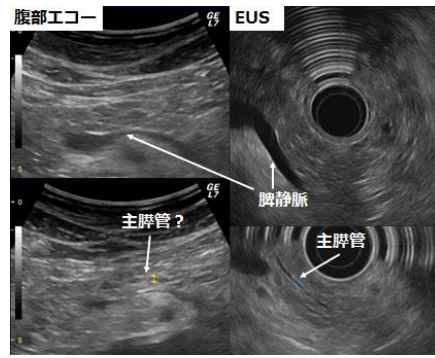
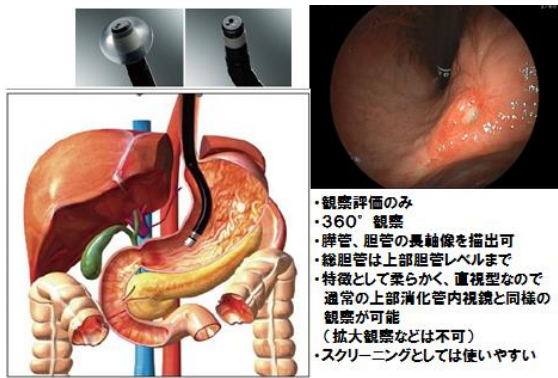


図 1

## コンベックス型EUS EG-530UT2

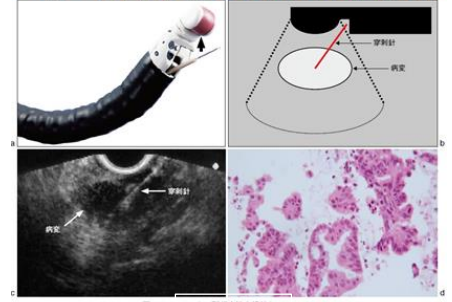
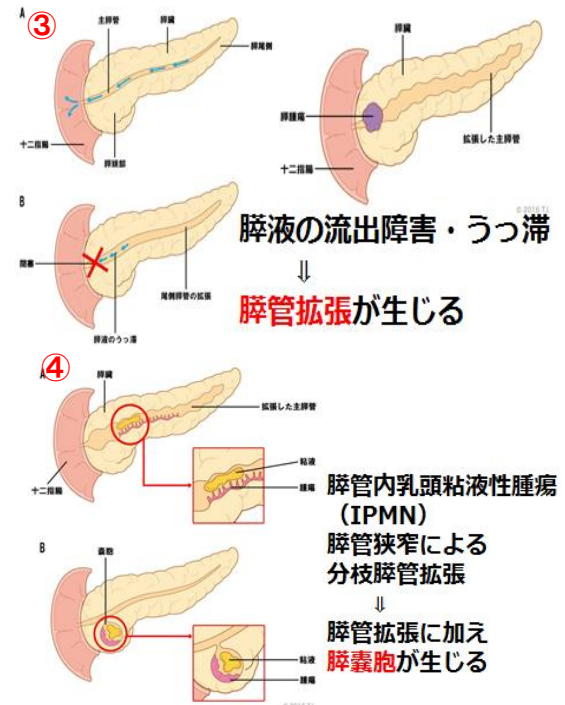
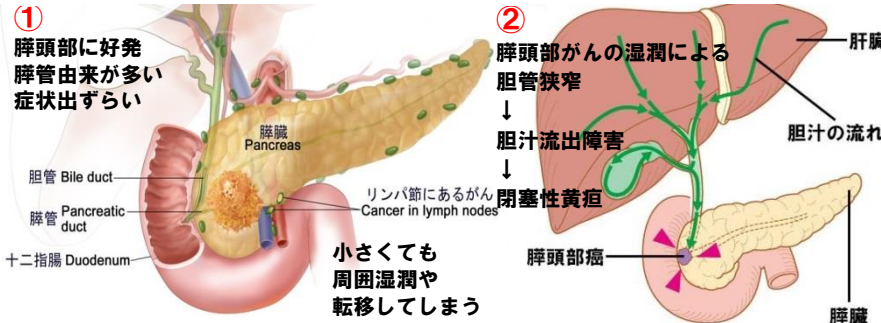


図 5 コンベックス型超音波内視鏡と EUS-FNA

実際の画像は (図 1) ですが、通常のエコーでは検出が難しい膵管の拡張が超音波内視鏡で見えています。その上で針を刺して調べる必要があると判断された際はコンベックス型超音波内視鏡で細胞を採取します (図 2)。この技術を持っている医師は現在は県内に 7 人しかいないとのことでした。

膵癌の特徴を要約しますと、①発見が難しい ②黄疸は要注意 ③膵管拡張 ④膵嚢胞がある 左記の際は膵臓癌を念頭に精密検査行う必要があるということです。



## 3. 膵臓癌の危険因子とは

アルコールの飲み過ぎ、中性脂肪が高い人など急性膵炎を起こしやすい人は要注意とのことでした。血中アミラーゼが持続して高い方々は反復する上腹部痛があるかどうか、飲酒量が多くないか。更に、体重減少があるときは慢性膵炎になっていないか。専門医に相談しましょう。

### 危険因子

1. 家族歴: 膵癌、遺伝子膵癌症候群
2. 嗜好: 喫煙、大量飲酒
3. 合併疾患: 糖尿病、肥満、慢性膵炎、遺伝性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)、膵嚢胞

### 【推奨】

- ★ 家族歴、合併疾患、嗜好などの危険因子を複数有する場合は、膵癌の高リスク群として検査を行うことが勧められる (グレードB)
- ★ 膵IPMNと膵嚢胞は膵癌の前癌病変として慎重な経過観察が勧められる (グレードB)

## 5. まとめ

- より小さな腫瘍径での診断を目指す 10mm 以下を目標に
- “腫瘍を描出する”検査から “膵管の異常を描出する検査”への転換
- リスクファクター該当者への腹部エコー介入で膵管拡張、または嚢胞あれば精査を
- 侵襲の少ないCT, EUS, MRIの積極的な介入
- 膵がんの精査が可能な中核病院と地域連携施設の協働で、早期発見は可能!

## 4. 尾道膵 (臓) 癌早期診断プロジェクトについて

広島尾道では限られた医療資源を有効に活用できるように、尾道医師会と尾道総合病院、尾道市立市民病院が連携して、入院治療から在宅医療までつなげる取り組みをしているそうです。その中で膵臓癌の早期発見を目指した取り組みを行っており成果を上げているようです。開始前が年間 25 例前後だった膵臓癌診断数が、倍の 50 例を超えるようになってきているようです。新里先生もこの尾道の病院で 1 年間研修を受け、技術を習得してきたとのことでした。今ではこの尾道方式が全国の標準となり、膵臓癌診療ガイドラインの中で紹介されています。

私も今回の講演会は大変参考になりました。膵癌の早期発見を目指した取り組みを、新里先生と協力して当院でも取り組んでいきたいと考えています。





## 166回 首里城下町クリニック 『地域むけ医療講演会』

日時: 平成29年5月10日(水) 19:00~20:30

テーマ: 関節リウマチの内科的治療  
~薬の話に踏み込んで~

首里城下町クリニック第一・第二 第二院長 比嘉 啓

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック 『働く人健康支援室』は、



産業医・内科医  
高血圧が専門です  
田名 毅

あなたの **相談窓口** です!



保健師・産業カウンセラー  
認定産業看護師 田名彩子

### 相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

- ★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。
- ★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。  
事前にお電話の上、いらしてください。
- ★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。  
事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。
- ★その他、電話やメール相談も随時行っています。

暫く  
産休・育児休暇に  
入ります!



保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー  
與儀雅代



看護師・衛生管理者  
糖尿病療養指導士 新垣朋子



認定産業看護師  
山城愛子



### 連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室  
098-885-5000

携帯 080-4312-9200 (田名彩子)

メール [saiko@discuit.ocn.ne.jp](mailto:saiko@discuit.ocn.ne.jp)

プライバシーは守ります。

お気軽にご利用下さい!